

## 図書情報センターニュースレター

(旧 図書館ニュースレター)

(改訂版) 第7号

### ■ 後期学期から図書館の授業期間中（平日）の開館時間が朝 8 時 55 分になりました。

今年度の後期から、試験期間中に加えて、授業期間中の平日の開館時間が従来の朝 9 時から 8 時 55 分になり、授業開始少し前から利用できます。図書の貸出や返却にご利用ください。

### ■ 7 月から学内 LAN やパソコンに関する「ヘルプデスク」が開設されました。

教職員の皆様には既に多くのご利用をいただいておりますが、7 月より学内 LAN やパソコンに関するヘルプデスクを開設しています。困りごと、トラブルなどがありましたらご相談ください。以下、あらためて開設時間等をご案内します。

開設時間：平日 8:55 - 17:00

場所：図書館カウンター（担当：森川学）

内線：3402

メール：[kccn-info@kobe-ccn.ac.jp](mailto:kccn-info@kobe-ccn.ac.jp)

なお、メーリングリストの作成や Moodle、いちかんへの設定などの依頼も受け付けておりますが、メールでの問い合わせへの返答を含め、お時間をいただく場合があることをご了承ください。

### ■ 「デジタルサイネージ」をご利用いただけます。



本部研究棟 1 階事務局前で目にされている方も多いと思いますが、図書情報センターでは、昨年度購入したデジタルサイネージ（左の写真）を学内で幅広く活用していただくため、学生等へ周知したいことやイベント案内等、表示したいデータを募っています。お申し込みは、上記ヘルプデスクまで。設置場所は基本、事務局前ですが、他の場所（教室前やホール等）に設置したい場合はご相談ください。設置時間は、装置の管理上、原則、平日の 9 時から 17 時までとなります。

(裏に続く)

## ■ 図書館ラーニングコモンズや視聴覚コーナーをご活用ください。



図書館内には「ラーニングコモンズ」（左の写真）が2部屋あり、学生同士のディスカッションをはじめ、様々に利用ができます。現在、比較的空いている時間もあり、予約が入っていなければ、閉館時間まで基本的に自由に利用できます。なお、予約については、平日の1～5限の時間帯に5人以上で視聴覚利用の場合のみ必要です（申込は前日までに図書館カウンターへ。電話（内線3400）受付も可）。

図書館に入って左側にある「視聴覚コーナー」もぜひご利用ください。現在、ソフトの持込はできませんが、本図書館には、興味や視野を広げてくれる映像や音楽、医療や看護に関する種々のソフトがあり、右の写真のように個々のブースを仕切る事も出来るので、落ち着いて視聴ができます。授業期間中の平日利用は19時までで、図書館カウンターで受け付けています。また、今年度4月からは、一部、貸出が可能なDVDもあります。



## ■ 冊子体でない報告書等も神戸市看護大学図書館リポジトリ申請ができます。

これまで、リポジトリ申請を行える文献は、原則として印刷物をその対象としてきましたが、必ずしも印刷物として発行されない文献や報告書等も増加していることから、発行形態が電子ファイルのみの場合であってもリポジトリに登録、公表できるよう、条件を広げました。これに伴い、申請書および運用指針を改定いたしました（第5条中に追加）。運用指針および申請書は、本学HP→「図書館」→「文献検索資料一覧」→「神戸市看護大学リポジトリ」にあります。「学位論文」「研究成果・論文」以外の報告書等の登録・公開申請は、申請書のうち「一般」を用いてお申し込みください。提出方法等は、申請書中に記載しています。

## ■ 「私の書齋」プロジェクトを継続中です。

「私の書齋」は、学部生及び大学院生が、図書館2階のキャレルコーナーのうち3室を、2ヶ月継続で使えるプロジェクトで、偶数月の月末に、翌月から2ヶ月分の利用希望者を募っています。詳しくは、図書館カウンターまで。

★図書情報センターニュースレターは不定期で発行しています。本学HPの図書館ページに掲載し、学内には「いちかん」等にて配信いたします。図書館内では紙媒体でも若干部数をご用意しますのでご自由にお取り下さい。

## ■ 新企画！ 教職員の推薦図書を紹介します。

今年度からスタートした新企画（特設展示コーナーあり）で、どれも図書館に置いている書籍です。今回、この半年で集まった5冊について、教職員自らの推薦メッセージとともにご紹介します。

### 1) 「あちこちガタが来てるけど 心は元気！ 80代で見つけた 生きる幸せ」G3sewing (KADOKAWA)

この本は今年の2年生の老年健康生活支援論の授業のなかで、社会的に健康に老いることを理解してもらいたいと考え紹介しました。84歳のG3（じーさん）、80歳のB3（ぼーさん）、50歳の三女の3人ががま口バッグを作り販売をしているG3sewingの物語です。ミシンを使うのも初めてだった職人気質のG3が三女の用意した布を縫い聖書カバーを作るところから物語は始まります。生きる希望も持てず、年金3万の何もやることがない、年をとって楽しいことがないと暗い気持ちでいたG3がバッグを作り始めてから、健康に気を遣い、規則正しい生活を送りながら社会の一員として働く姿が詳細に書かれていて、「G3もB3も長生きして欲しいなあ」と願わずにいられない気持ちになりました。心と体の健康どちらも大事に自分で見出した役割を担い毎日を生きること、希望を持ちながら生きることの尊さがユーモアを交えながら書かれています。高齢者の理解や高齢者が豊かに生きることを考えるきっかけになれば嬉しいです。（坪井 桂子 先生（老年看護学分野））

### 2) 「くもをさがす」 西 加奈子（河出書房新書）

彼女が体験した世界に没入する。笑いながら泣いてしまう。心が掴まれた。カッコいい看護師も登場するよ。（稲垣 聡 先生（基礎看護学分野））

\*夏期集中講義「臨床遺伝学」でも、講師の玉置知子先生が紹介しておられました。コロナ禍に滞在先のカナダで乳がんを宣告された著者が、発覚から治療を終えるまでの8ヶ月間を描いたノンフィクションです。

### 3) 「ピアニマン『BLUE GIANT』雪祈の物語」 南波 永人（小学館）

漫画「ブルー ジャイアント」のスピノフ小説。ジャズピアニストの沢辺雪祈をフューチャーした本書には漫画や映画で語られなかったエピソードも多く盛り込まれており、漫画や映画をご覧になられた方には特にお勧めしたい小説です。逆に漫画や映画を知らない方が読まれたとしても充分楽しんでいただける内容ですので、こちらも自信を持ってお勧めできます。特に音楽好きや楽器経験者、夢を懸命に追いかける若者の話が好きな方には刺さると思います。日本一の格式を誇るジャズクラブ「ソーブルー」に10代で出演するという雪祈の夢はかなうのでしょうか？漫画「ブルー ジャイアント」も当館に所属していますので、そちらも是非ご覧ください。（図書館）

### 4) 「死ぬまで、働く」。池田きぬ（すばる舎）

2年生：老年健康生活支援論、3年生：老年療養生活支援論の講義の中でも紹介した98歳の現在も現役看護師の池田きぬさんが書いた本です。年齢に関係なく、いつまでも挑戦し続けておられる姿は、「人は、最期まで成長し続ける存在」をまさしく体現しておられ、とても勇気と元気をもらえる1冊です。看護職としてだけでなく、人生の大先輩のちょっとした生き方のコツを教えてください、

（裏に続く）

みなさんも、是非、豊かな人生を生きるためのヒントをもらって、充実した毎日を送ってください。  
(石橋 信江 先生 (老年看護学分野))

#### 5) 「太陽の子」 灰谷健次郎 (理論社)

神戸を舞台にした有名な児童文学作品です。港町神戸の下町の沖縄料理店の子「ふうちゃん」が主人公で、その店に集う沖縄出身の人々や神戸っ子らの生活が明るい筆致で描かれていきます。しかし、作品の主題は、戦争がもたらした災禍が、世間の冷たさが、長く時を経ても人の身体にも精神にも傷跡を残す、癒やされることのない理不尽な現実への問いにあると思います。それでも主人公等の若い世代が、周囲の温かさに励まされ、現実を乗り越えて行くエネルギーと誇り高さを持っていると思えるのが救いです。世界が不穏な状況の今こそ、推薦したい1冊です。(藤代 節 先生 (人文科学分野))



\* 当企画は、神戸市看護大学の教職員が、自身の専門分野の書籍に限らず、様々な本を、おすすめポイントとともに紹介するものです。図書情報センターでは、引き続き、おすすめ本を募っております。図書館にない本の場合は、(領域図書とは別に)直接図書館にお声がけいただき、購入・展示できればと思います。

#### ■ 資料特別展示「認知症の当事者と家族」を実施中です。

視聴覚コーナーの入口で、先日より「認知症の当事者と家族」特別展示を実施中です。関連する書籍やDVD, 話題の作品などをまとめて展示していますので、みなさま、是非ご覧ください。当コーナーでは、このあとも、「AI ナウ~ディープラーニングから ChatGPT まで」(仮題)などの展示を企画中です。みなさまからの企画提案も歓迎いたします。

#### ■ ユニティの図書館相互利用が再開されました。

本学の学部学生・大学院生・教職員は、ユニティ加盟校(神戸芸術工科大学・神戸市外国語大学・兵庫県立大学(神戸商科キャンパス)・流通科学大学・神戸市立工業高等専門学校・神戸市看護大学)の図書館を利用することができます(コロナ禍で中止していた相互利用が、2023年10月2日(月)から再開されました)。加盟校の図書を借りたい方は、本学図書館での事前手続きが必要です。また、加盟校図書館訪問時には、身分証明書(学生証)をお持ちください。ご不明な点は、図書館カウンターまたは、[toshokan@tr.kobe-ccn.ac.jp](mailto:toshokan@tr.kobe-ccn.ac.jp) までお問い合わせください。

[図書情報センター委員が新メンバーになって最初のニュースレターになります。図書館が、学習や研究を支えると共に、広く、よき書物との出会いの場、未知の世界への扉になるとよいと思います。]

★図書情報センターニュースレターは不定期で発行しています。本学 HP の図書館ページに掲載し、学内には「いちかん」等にて配信いたします。図書館内では紙媒体でも若干部数をご用意しますのでご自由にお取り下さい。